令和５年度　苫小牧市東開文化交流サロン　管理運営実績シート

<table>
<tr><th>内容</th><th colspan="4">計画及び実績等</th></tr>
<tr><td>事業計画概要</td><td colspan="4">●実施事業内容
１）貸室受付　　２）コーディネーター、見守り支援員の配置　３）図書業務
４）カフェ運営　５）サロンだより　６）軽体操教室（高齢者向け）
７）趣味教室（子ども向け）　８）大人向け講座
●自主事業内容
１）ギャラリー展示　２）就労継続支援Ａ型事業　３）就労継続支援Ｂ型事業
４）ボランティアの育成
※子ども第３の居場所事業を独自に行っております。</td></tr>
<tr><td>事業計画の内、未実施の事業</td><td colspan="4">なし</td></tr>
<tr><td>経年比較時の参考年度</td><td>R4</td><td>前年度実績を参考としない場合の理由</td><td colspan="2">※R４年度分を記載するが、12 月１日からの開館のため４か月間の実績のみとなる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">利用実績</td><td>R4実績（参考値）</td><td colspan="2">目　標</td><td>実　績</td></tr>
<tr><td>（R4.12.1～R5.3.31）
【来館者】
20,843 人
【図書】
貸出人数　3,016 人
貸出冊数　13,349 冊
【貸室】
利用人数　1,047 人
【カフェ】
利用人数　2,768 人
売　上 1,549,480 円
【講座】
●12 月開催　４回 49 人
●1 月開催　４回 60 人
●2 月開催　５回 86 人
●3月開催　４回 53 人</td><td colspan="2">【来館者】
67,500 人
【図書】
貸出人数　22,400 人
貸出冊数　89,700 冊
【貸室】
利用人数　17,500 人
【カフェ】
利用人数　8,400 人
売　上　4,275,000円
【講座】
●4 月　４回
●5 月　５回
●6 月　４回
●7 月　５回
●8 月　４回
●9 月　５回
●10 月　４回
●11 月　５回
●12 月　４回
●1 月　５回</td><td>【来館者】
73,917 人
【図書】
貸出人数　7,950 人
貸出冊数　36,054 冊
【貸室】
利用人数　5,882 人
【カフェ】
利用人数　6,056 人
売　上　3,488,989 円
【講座】　※詳細別紙参照
●4 月　４回　44 人
●5 月　５回　56 人
●6 月　４回　46 人
●7 月　５回　76 人
●8 月　４回　52 人
●9 月　５回　75 人
●10 月　３回　19 人
●11 月　５回　48 人
●12 月　５回　39 人
●1 月　４回　41 人</td></tr>
</table>

		●2月　4回 ●3月　5回	●2月　5回　54人 ●3月　4回　49人
利用者満足度	利用者アンケート結果		
	満足 92.1%	やや不満 0.4%	
	やや満足 7.5%	不満 0%	

	収　入			
事業費（自主事業を除く総額）	費目	R4決算（参考値）	R5予算	R5決算 （4/1～3/31）
	指定管理費	15,024,000円	43,666,000円	43,666,000円
	利用料金収入	132,010円	820,000円	547,680円
	自主事業収入（充当分）	1570,315円	4,275,000円	3,618,094円
	その他収入 （補助金・補てん金）	1,641,426円	1,421,000円	円
	その他収入	円	円	円
	合計	18,367,751円	50,182,000円	47,831,774円

	支　出			
	費目	R4決算（参考値）	R5予算	R5決算 （4/1～3/31）
	人件費	11,392,179円	31,859,000円	33,125,374円
	光熱水費	1,412,515円	7,104,000円	3,799,195円
	報償費	円	590,000円	151,250円
	研修研究費	円	165,000円	73,150円
	消耗品費	247,344円	1,192,000円	1,063,930円
	印刷製本費	47,104円	132,000円	165,776円
	通信運搬費	52,714円	433,000円	374,954円
	広告手数料等	16,000円	409,000円	146,386円
	修繕費	0円	330,000円	円
	委託費	1,385,699円	4,628,000円	4,659,068円
	保守料	228,457円	709,000円	636,982円
	賃借料	44,880円	464,000円	円
	保険料	3,450円	16,000円	13,800円
	カフェ原価	549,750円	1,282,000円	1,892,318円
	一般管理費	230,000円	869,000円	854,511円
	合計	15,610,092円	50,182,000円	46,956,694円

<table>
<tr><td rowspan="2">自主事業内容</td><td>計　画</td><td>実　績</td></tr>
<tr><td>（事業内容、開催時期、参加人数等を記載）
①　ギャラリー展示
②　就労継続支援Ａ型
③　就労継続支援Ｂ型
④　ボランティアの育成</td><td>（事業内容、開催時期、参加人数等を記載）
①　ギャラリー展示　※詳細別紙参照
・4/10-5/1 はて？な！展
・5/4-5/25「いのちの木のあるところ」刊行記念複製原画展
・6/7-6/30 旅に出る。展
・7/4-8/30 旅に出る。展２
・9/2-10/15 寄贈記念展
周縁から生まれる生の芸術
・10/18-10/28 「認知症になっても、なんでも出来る：関連企画　記憶とつなぐ下坂厚写真展
・11/7-12/28 自由な表現を引き出すアート和０区ショップ成果報告展
・1/12-3/5 描くことは、生きてゆくこと。
・3/13～「見つめる ちから」展
②　就労継続支援Ａ型　延 1101 人利用
③　就労継続支援Ｂ型　延 202 人利用
④　ボランティアの育成
・11/5、12/23、2/23
延参加人数　144 人</td></tr>
<tr><td>自主事業計画の内、未実施の事業</td><td colspan="2">なし</td></tr>
<tr><td rowspan="2">職員研修等の実施内容</td><td>計　画</td><td>実　績</td></tr>
<tr><td>〇感染症、食の安全研修
〇防犯訓練
〇防災訓練（消防・避難・通報訓練）
〇救命講習
〇感染症対策研修
〇虐待防止、人権擁護
〇個人情報、情報セキュリティ
〇共生型研修</td><td>〇食の安全、防犯、救命講習
〇防災訓練
〇感染症対策研修
〇虐待防止、権利擁護
〇個人情報、情報セキュリティ研修
〇安全運転研修
〇共生型研修</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">配置人員</th><th>R4実績（参考値）</th><th>R５計画</th><th>R５実績</th></tr>
<tr><td>館長　１名　正規
コーディネーター　１名　正規
受付見守支援員　６名　正規/パート
図書室運営責任者　１名　正規
図書室スタッフ　２名　正規
カフェ店員　６名　正規/パート</td><td>館長　１名　正規
コーディネーター　１名　正規
受付見守支援員　５名　契約/パート
図書室運営責任者　１名　正規
図書室スタッフ　２名　正規
カフェ店員　５名　正規/契約/パート</td><td>館長　１名　正規
コーディネーター　１名　正規
受付見守支援員　５名　契約/パート
図書室運営責任者　１名　正規
図書室スタッフ　２名　正規
カフェ店員　５名　正規/契約/パート</td></tr>
<tr><td>指定管理者独自で行った工夫、取組等</td><td colspan="3">（指定管理者独自の工夫・取組等の内容を箇条書きで記載）
○見守り支援員による声掛けや地域活動コーディネート
・来館する地域住民との関係性構築を深め、地域住民自身の活動を後押ししたりサロンでの交流イベントの企画実施
・要観察児童や気になる高齢者などの情報を見守り支援員同士で共有し、いつ来館しても本人状態や状況把握に努められるよう共有会議や日々の引継ぎを徹底した。（スラッグ等）
○コーディネーター等による地域資源との多機関協働
・東地域包括支援センターとの協働による、若年性認知症に関する映画上映が講演会実施。
・東開町内会との協働による、子どもたち対象の「昔遊び体験会」の実施。
○館内スペースの供用による来館者同士の自然な交流の創出
・占有利用されていない貸室や他腰掛けられる館内設備をどなたでも利用できる居場所とし、お子さん連れの保護者や、小中学生、受験勉強中の高校生、地域住民など、さまざまな人がサロンに来館し、関わり合うきっかけの場づくりが出来た。また、「にぎやか」を超えた「さわがしい」状態になっても、一般開放している貸室内にテーブルや椅子を準備することや、一部体を動かして過ごせる場所にする準備をする館内構造化を図り、より過ごしやすいよう工夫を行った。
○地域住民と関わりながら就労できる環境の提供（障害者就労支援）
・障がいのある方が必要なサポートを受けながら就労する就労継続支援の場として施設を活用した。
・図書業務補助やカフェスタッフ、清掃作業員として障がいのある方が働くことで、地域にとって自然な関わり生まれ、働く本人にとっても、役割をもって働けるというモチベーションに繋がっている。
・支援を受けながら働くスタッフが、来館する小学生を見守り、悩みを聞くなど、立場や属性に関わらない自然な交流、支え合いも生まれている。
・市内企業とのかかわりや近隣市町村への施設外就労についても検討を進め、実際に企業訪問や農家訪問を行い、障がい者雇用や障害のある方の委託作業などについて意見交換等行うことが出来た。
○SNS による情報発信、活動報告
・Instagram：789 フォロワー、390 投稿（令和６年４月 29 日現在）
・facebook：206 フォロワー（令和６年４月 29 日現在）</td></tr>
</table>